

平成28年3月11日

保護者様

我孫子市立白山中学校
校長 高橋 秀彦

「学校評価アンケート」について

早春の候、皆様方におかれましては益々ご清祥のことと拝察いたします。平成27年度も残すところあとわずかとなりました。本校に対しまして温かいご指導とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

さて、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果がまとまりましたのでご報告いたします。

1 成果 <示している%は、そう思う・大体そう思うの回答の合計%です。>

○生徒アンケートより

- ・おおむね質問項目に対して、そう思う・大体そう思うが85%を超えている評価でした。
- ・学校については、白山中生は歌声ができていて(92.4%)、学校全体の雰囲気は良いと思う(94.3%)という評価です。
- ・学校生活について、先生方は、友だちを思いやることを大切にしている(93.3%)いじめや暴力のない学校をつくらうとしている(91.7%)、わかりやすい授業を行おうと努力している(86.4%)、公共のルールやマナーを大切にし(94.8%)、きちんと生徒指導している(94.5%)、防災訓練等とおして災害に備えている(93.2%)という評価です。
- ・自分については、楽しく通学し(93.3%)、友だち関係はよく(93.6%)、学校行事(92.5%)や部活動(87.3%)に積極的に参加しているという評価です。

○保護者アンケートより

- ・90%以上の評価を得たものをまとめると、次のようになります。
「学校教育目標に共感ができ(91.5%)、学校の雰囲気はよく(91.0%)、子どもは行事に積極的に参加し(93.6%)、楽しく通学している(93.1%)。学校、学年の通信は適切だと思う(94.5%)。」

○教師アンケートより

- ・90%以上の評価を得たものは次の項目です。
学校教育目標や経営重点に共感できる。(97.7%)
授業や行事を保護者に進んで公開しようとしている。(90.9%)
保護者の意見や相談に丁寧に耳を傾けている。(93.2%)
家庭への連絡や情報交換をきめ細かく行うよう努めている。(95.5%)
学校・学年通信等の内容は適切だと思う。(100%)
いじめや暴力のない学校をつくらうとしている。(100%)
特別支援を要する生徒への配慮がなされている。(90.9%)
生徒は、学校に楽しく通学している。(95.4%)
生徒は、学校行事に意欲的に参加している。(97.8%)
生徒は、部活動に意欲的に参加している。(95.4%)

2 課題及び今後の取り組み

- ・「あいさつ」に関しては、生徒、保護者、教師の三者から改善の必要があるとの意見が出ています。来年度の重点的な取り組みのひとつにしていきたいと考えています。
- ・教師は、生徒の学習意欲や努力を公平に評価しようと努力していますが、生徒及び保護者から一層の理解を得る必要があります。評価については、市内共通で今年度より、学年評定を3学期の通知票に記載することになりました（全学年）。
- ・生徒へのアンケート「白山中には自分のことを理解してくれている先生がいると思う」の回答では、「そう思う、だいたいそう思う」が昨年度69.5%から今年度77.7%になりました。生徒理解に努め、日々の生徒とのふれあいを大切にしています。教師の評価でも共通理解、共同歩調で生徒指導にあたる必要があるとの評価です。生徒や保護者の評価からも信頼関係を一層構築するよう努める必要があります。
- ・教師はわかりやすい授業に努めているかについては、一定の評価を得ていますが、さらに研修を深めていきます。今年度、アクティブラーニングについて研修を行いました。引き続き、来年度もアクティブラーニングの研修を深めていきます。
- ・学校は家庭連絡やきめ細かな情報交換に努めていますが、一層きめ細かな発信に努めます。「Eライブラリー連絡メール2」の加入もさらに進めていく必要があると考えます。
- ・進路指導に一層力を入れ、生徒や保護者が必要とする適切な進路情報の提供に努めていきます。
- ・記述式で回答していただいたご意見については、真摯に受け止めて、理解が得られるよう努めていきます。また、教師の言動では、信頼関係を損なわないよう努める必要があります。

3 学校評議員による評価

- ・学校評価とは非常に気になるものだと思います。子どもたちは楽しく通学できているかも大事ではあるが、先生方が楽しく活動できているかも大事だと思います。個別の意見の中で、先生方の「言葉づかいについてきつい、厳しい」と言う点については、小学校の先生方のことばが比較的きれいで、中学校になると少しきつくなっていると感じているのかもしれない。ただし、子どもたちへ投げかける言葉として、1度自分に投げかけてみて欲しいと思う。
- ・娘が高校に行っていますが、高校では何も言われなくなる。白山中は比較的厳しいが、色々言われることは後になってよい。白山中でよかったと言っている。「ジャージのリサイクルについてもっとやるべき」という意見がありましたが、あれだけお手紙も出させていただいて、一生懸命取り組んでいるのに、理解が行き届いていないので、とても残念です。「百人一首についてはいらぬ」というご意見もありますが、高校の百人一首大会で、決勝は白山中の先輩との対戦になったと言っていました。この百人一首の学習はよかったと思っています。
- ・アンケートを見ると学年が上がっていくにつれて満足度が上がって行くので、1年生の保護者の方のご意見は小学校の延長という感覚から来るものもあるのかなと感じます。保護者、生徒の学校の雰囲気が良いという意見の多さによかったと思いました。挨拶についてはだんだん減っているのかなと思いますが、子どもたちだけに求めるだけでなく、こちらから言う姿勢も必要だと思います。
- ・「雰囲気」という言葉は、非常に定義が難しい言葉だと思います。例えば教員がお互いに競い合う姿が、ある人は好ましく感じたり、またある人にとっては険悪に見えたりします。教員間の雰囲気に関してのアンケートの数値は健全というか、むしろ良すぎると思えるものではないかと感じます。
- ・保護者のアンケートについては良い方向だと思います。アンケートの結果がよすぎるので、みんな良い方向に向いているのかなと思う一方で、少し不自然さも感じます。学年別に数字がよくなっているのは、学校に恩があると感じるという想いも含まれているのだと思います。とすれば、そういう点では、学校がきちんと子供たちを大人に成長させていっているのだと思います。
- ・ぱっと見てこの学校の評価としては素晴らしい学校だと思っています。来年度に向けて、人と人との距離関係、生徒一人一人との関係を、親御さんも含めて説明理解を出来れば良いかなと思います。親御さんはどこまでも自分の子どもを見ている。多様性、多様化が子どもから親に伝わると良いのかなと思います。